

39

浦賀上陸地支局

(昭和二十年十二月二〇日)

史実調査参考資料報告

所在地	官古島	職官	陸軍少尉(歩兵砲中隊)	備考
所屬部隊	独立歩兵第三九八大隊	氏名	[Redacted]	終戦時ノモ ノヲ記ス
支那事変以降ニ於ケル自己ノ略	<p>昭和十一年四月秋田中學校入生 全十六年三月同校卒業 全十七年四月宇都宮高等農科 全十八年九月同校假卒業 全十九年十一月東部五十八師隊入隊 全十九年五月一日仙台予備士官學校入校 天守作戦ニ参加</p>	昭十九年九月二十日	<p>福知山教育隊ニ入隊 十二月二十五日卒業 全十九年十一月同校假卒業 全十九年十一月東部五十八師隊入隊 全十九年五月一日仙台予備士官學校入校 天守作戦ニ参加</p>	職ノ変更及 主ナル参加 戦年名ヲ 記ス
所屬部隊ノ編成年月日及編制裝備ノ概要	<p>昭和十九年十月十五日 編制裝備 獨立混成第六十旅團(歩四六)一大八一般三砲隊MG一中隊 司(或ハ)砲兵一大工兵一中通信一中(ニシテ) 總人員 三十五百名ナリ</p>	東滿總省板河ニテ節減ス	<p>昭十九年十月十五日 編制裝備 獨立混成第六十旅團(歩四六)一大八一般三砲隊MG一中隊 司(或ハ)砲兵一大工兵一中通信一中(ニシテ) 總人員 三十五百名ナリ</p>	最終ノ所 屬部隊ヲ 主ニ尚其 以テノ所 屬部隊ノ 介ヲモ概記 ス
所屬部隊ノ戦經過ノ概要	<p>大隊ハ昭和十九年九月十四日官古島ニ駐屯シ島ノ埋守準備 二任ス</p>	自昭十九年三月末	<p>昭十九年九月二十日 福知山教育隊ニ入隊 十二月二十五日卒業 全十九年十一月同校假卒業 全十九年十一月東部五十八師隊入隊 全十九年五月一日仙台予備士官學校入校 天守作戦ニ参加</p>	歸還輸送 ノ狀況ヲモ 併記ス
終戦(又ハ五カノ戦)ノ終了ノ狀況	<p>終戦後ハ全カヲ以テ自治甘蔗ノ生産化ヲ 目途ニシカラス</p>	昭十九年九月二十日	<p>昭十九年九月二十日 福知山教育隊ニ入隊 十二月二十五日卒業 全十九年十一月同校假卒業 全十九年十一月東部五十八師隊入隊 全十九年五月一日仙台予備士官學校入校 天守作戦ニ参加</p>	歸還輸送 ノ狀況ヲモ 併記ス
歸郷(又ハ連絡)ノ先	[Redacted]	昭十九年九月二十日	<p>昭十九年九月二十日 福知山教育隊ニ入隊 十二月二十五日卒業 全十九年十一月同校假卒業 全十九年十一月東部五十八師隊入隊 全十九年五月一日仙台予備士官學校入校 天守作戦ニ参加</p>	歸還輸送 ノ狀況ヲモ 併記ス
其他ノ参考事項	十二	昭十九年九月二十日	<p>昭十九年九月二十日 福知山教育隊ニ入隊 十二月二十五日卒業 全十九年十一月同校假卒業 全十九年十一月東部五十八師隊入隊 全十九年五月一日仙台予備士官學校入校 天守作戦ニ参加</p>	歸還輸送 ノ狀況ヲモ 併記ス

受付
21.1.4
第一

浦賀上陸地支局

(昭和二十一年十二月二十日)

史実調査参考資料報告

所在地	官古島	職官 中尉 佐々木 誠	摘要 終戦時ノモ ノヲ記ス
所属部隊	独立歩兵第三九六大隊	昭和二十一年二月十日 浦賀上陸部隊(八師團)入隊 同 年 二 月 二十 日 浦賀上陸部隊(石山子)到着 昭和二十一年八月十日 浦賀上陸部隊(石山子)到着 昭和二十一年八月十日 浦賀上陸部隊(石山子)到着 昭和二十一年八月十日 浦賀上陸部隊(石山子)到着 昭和二十一年八月十日 浦賀上陸部隊(石山子)到着 昭和二十一年八月十日 浦賀上陸部隊(石山子)到着 昭和二十一年八月十日 浦賀上陸部隊(石山子)到着	職ノ変更及 五ノル参加 戦手名ヲ 記ス
支那事変 以降ニ於テ 自己ノ略ヲ	編成年月日 昭和十九年八月十五日 東滿總省撤 及編制裝備 概要	編成於浦賀 編成裝備ノ概要 獨立混成方隊(歩四、大、天、二、般、中、隊、三、竹、中、隊、)内、中隊十、砲、兵、二、大、工、兵、一、中、通信、一、中、)ニ、テ、總、員、三、千、五、百、名、ナリ	最終ノ所 屬部隊ヲ 五ニ尚其 以テノ所 屬部隊ノ 介テモ概記 ス
所属部隊 概	大隊ハ砲、九、四、五、古島ニ駐在シ、浦賀島、味、字、角、ニ、化、シ、那、甘、甘、中、曹、自、昭、二、〇、三、三、二、六、内、天、号、作、戦、(一、級、戦、)ニ、参、加、シ、連、日、敵、ノ、砲、撃、受、ケ、シ、被、傷、者、多、シ、將、兵、ノ、傷、亡、ニ、ヨ、リ、損、害、甚、大、ニ、シ、テ、戦、斗、ヲ、終、結、セ、リ	終戦後ハ全力ヲ以テ自任作業ニ化シ甘藷ヲ以テ主食ノ代用トシ、將兵ノ栄養ニ萬分ノ注意シ、患者ノ進退少シ努力セリ	帰還輸送 ノ状況ヲモ 併記ス
終戦(又ハ五 力ノ戦斗終 了)ノ状況	帰郷(又ハ連 絡)ノ先	其他ノ参 考事項	

交付
21.1.4

浦賀上陸地支局

(昭和二十年十月二十日)

史実調査参考資料報告

所在地	宮古島	職官	陸軍少尉	備考	終戦時ノモ ノヲ記ス
所屬部隊	第398大隊	氏名	[Redacted]	職ノ変更及 主ナル参加 戦手名ヲ 記ス	[Redacted]
支那事変 以降於 自己ノ略 ノ	昭和十九年八月十日 滿州東滿總省掖河、滿州河日白 部隊、臨時官某ヲ令セリ鷹爪			職ノ変更及 主ナル参加 戦手名ヲ 記ス	[Redacted]
所屬部隊 編成年月日 及編制裝備 ノ概要	編成年月日 昭和十九年八月五日東滿 總省北丹江掖河ノ於テ編成ス 編成裝備 機四 獨立混成中隊旅團(歩四大隊砲兵一 大隊)大隊(歩兵)一 大隊中隊三隊一隊一隊一隊 大隊(砲兵)一隊一隊一隊 大隊(砲兵)一隊一隊一隊			最終ノ所 屬部隊ヲ 以テ其ノ所 屬部隊ノ 介テ之概記 ス	[Redacted]
所屬部隊 戰經過ノ概 要	大隊、昭和一九一九年宮古島ニ駐屯 自島吐ノ字備ヘ任ス 自昭和一九一九年八月十日 ニ参加シ連日敵ノ砲撃ヲ蒙リテ ルニ將兵ヲ奮斗シテ損害輕微 ニシテ戰ヲ終結ス			[Redacted]	[Redacted]
終戦(又ハ主 力ノ戰ヲ終 了)ノ状況	戰中後、全力ヲ以テ自島ノ警備ニ 從事シ甘藷ヲ以テ主糧ニ代用シ 其他野菜ヲ採取シ給養ニ力 ヲ盡シ健康ヲ保全シ努力セリ			帰還輸送 ノ状況ヲモ 併記ス	[Redacted]
帰郷(又ハ連 絡)ノ先	[Redacted]			[Redacted]	[Redacted]
其他ノ参 考事項	[Redacted]			[Redacted]	[Redacted]

21.1

陸地支局

実証調査参考資料報告

(昭和二十年十二月二十日)

所在地	沖繩縣宮古島	職官	步兵砲小隊長 陸軍少尉	摘要	終戦時ノモ ノヲ記ス
所属部隊	独立混成第六十旅団獨立 歩兵第三九八大隊	氏名	[Redacted]		

支那事変以降ニ於ケル自己ノ略ヲ
天号作戰ニ参加
職ノ変更及
主ナル参加
戦手名ヲ
記ス

所属部隊
編成年月日
及編制裝備
概要
編成年月日
昭和十九年八月十五日東滿總省撫河ニ
於テ編成ス
独立混成第六十旅団(歩兵四大隊(一々大隊
二々中隊三、四、五)砲兵一々大隊二中
一々中隊、通信中隊)ニシテ總人員
三千五百名ナリ

所属部隊
戦經過概要
部隊ハ昭和十九年九月十四日宮古島ニ駐屯シ
島嶼守備ニ任ズ
自昭和二十年三月三日天号作戰(二級戦)ニ参加シ
連日敵機ノ襲撃ヲ被ルニシテ隊員ノ
同奮斗ニシテ損害輕微ニシテ戦ヲ
終結セリ

終戦一又八五
力ノ戦手終
了ノ状況
終戦ト同時ニ合力ヲ以テ自活ニ任シ甘藷
ヲ以テ主食ノ代用ト爲シ糧食ノ榮養ニ方
全ク盡シ遺者ノ減少ニ努メ歸還命令ヲ受
領シ宮古島ヲ離ルニシテ合衆船中ニ定マセ
ハニ米船ノ都合ニ依リ主力ハ残置セリ

帰郷一又八連
絡一先
帰還輸送
ノ状況ヲモ
併記ス

其他ノ参
考事項
[Redacted]

陸地支局

(昭和二十年十二月二十日)

実地調査参考資料報告

所在地

沖繩縣宮古島

職官

歩兵砲小隊長

所属部隊

独立混成第六十旅団 歩兵第三九八大隊

氏名

陸軍少尉

摘要

終戦時ノモ
ノヲ記ス

支那事変以降ニ於ケル自己ノ略ヲ

天号作戦ニ参加

職ノ変更及
主ナル参加
戦手名ヲ
記ス

所属部隊ノ編成年月日及編制裝備ノ概要

編成年月日
編成裝備
概要

昭和十九年八月十五日東滿總省撫河ニ於テ編成ス
独立混成第六十旅団(歩兵四大隊(一々大隊(一々中隊三・四・五)砲兵一々大隊(二中隊)通信中隊)ニシテ総人員三千五百名ナリ

最終ノ所属部隊ヲ
以テ所
屬部隊ノ
分テモ概記
ス

所属部隊作戦經過ノ概要

部隊ハ昭和十九年九月十四日宮古島ニ駐屯シ
島嶼半島ニ任ズ
自昭和二十年三月三日天号作戦(二級戦)ニ参加シ
至リ六月五日天号作戦(一級戦)ニ参加シ
神自敵ノ砲撃ヲ受ケルモ部隊將士一
同奮闘シテ損害輕微ニテ戦斗ヲ
終結セリ

終戦又ハ主力ノ戦手終了ノ終況

終戦ト同時ニ食力ヲ以テ自活ニ任ジ甘藷ヲ以テ主食ノ代用ト爲シ糧食ノ不足ニ方全ク盡シ患者ノ減少ニ努メ歸還命令ヲ受領シ皆苦島難又ニ是ノ命乗船準備完了セハス米服都合ニ依リ主力ハ残置セリ

帰還輸送ノ状況ヲモ併記ス

帰郷又ハ連絡ノ先

[Redacted]

其他ノ参考事項

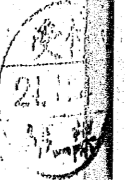
[Redacted]

補賀上陸地支局

(昭和二十年一月一日)

実調査参考資料報告

所在地		職官		備考
所属部隊	氏名			
天号作戦ニ参加				職ノ変更及 主ナル参加 戦手名ヲ 記ス
所屬部隊ノ 編成年月日 及編制裝備 ノ概要	一編成年月日 昭和十九年八月十五日 東海総軍被河ニ於テ 編成ス 二編成裝備 獨立混成第六〇旅團 歩兵四大隊(各大隊ハ一 ノ概要 被河ニ於テ各中隊)砲兵一大隊 工兵一中 隊 通信(一隊)ニシテ 総人員三十五百名ナリ	最良ノ所 屬部隊ヲ 主ニ尚其 ノ以テ所 屬部隊ノ 介テモ概記 ス		
所屬部隊作 戦經過ノ概 要	部隊ハ昭和十九年九月十四日宮古島ニ駐屯シ島嶼守備 ニ任ズ 自昭和二十年三月二十六日 至六月二十九日 天号作戦(被河)参加シ 連日敵ノ砲爆雷ヲ被リタレモ部隊將兵一同奮斗 シテ損害輕微ニシテ戦斗ヲ終結セリ			
終戦(又ハ主 力ノ戦斗終 了)ノ状況	終戦ト同時ニ自活体勢ヲ強化シ萬全ヲ期ス (主食代用トシテ甘藷ヲ栽培シ全カヲ消費ス) 宮古島狩俣ヲ米船ヨリ歸還スルモ 主カハ残置コレタリ	帰還輸送 ノ状況ヲモ 併記ス		
帰郷(又ハ連 絡)ノ先				
其他ノ参 考事項				



史實調査參考資料報告

所屬(固有)部隊	全右所在地	職官	摘 要
<p>独立混成第六旅團 第三九八大隊</p>	<p>沖繩縣 宮古島</p>	<p>小隊長 陸軍少尉</p>	<p>終戦時ノモノヲ 記ス</p>
<p>支那事變以降ニ 於ケル自己ノ略 歴</p>	<p>昭和十八年十一月一日留予東部第六部隊入隊。 昭和十九年五月一日豊橋第一陸軍予備士官入校。同年九月二十三日 京都府福知山中隊軍教育隊。轉居。同年十二月五日卒業。全日 任是習士官。昭和二十年三月一日宮古島赴任。同年十月十日独立歩兵第三九八 大隊。轉居。同島警備。同年八月二十日少尉任官。同日予備役編入。</p>	<p>職ノ變更及主ナ ル參加戰鬪名ヲ 記ス</p>	<p>職ノ變更及主ナ ル參加戰鬪名ヲ 記ス</p>
<p>所在部隊ノ編成 年月日及編制裝 備ノ概要</p>	<p>昭和十九年八月十五日編成定結 歩兵三ノ中隊 機銃一ノ中隊 步兵砲一ノ中隊(三七銃)</p>	<p>最後ノ所屬部隊 ヲ主ニシ向ソノ 以前ノ所屬部隊 ノ分ヲモ概記ス</p>	<p>最後ノ所屬部隊 ヲ主ニシ向ソノ 以前ノ所屬部隊 ノ分ヲモ概記ス</p>
<p>所屬部隊作戦經 過ノ概要</p>	<p>自昭和十九年九月十四日 至昭和二十年八月十五日 沖繩縣宮古島。駐留。警備。任。 自昭和二十年五月二十六日 至昭和二十年六月二十日 大才一ノ作戦ニ參加。</p>	<p>歸還輸送ノ狀況 ヲモ併記ス</p>	<p>歸還輸送ノ狀況 ヲモ併記ス</p>
<p>終戦(又ハ主力 ノ戰鬪終了) 後ノ概況</p>	<p>自昭和二十年八月十五日 至同年十二月二十日 宮古島。於、復員業務。從事。 自昭和二十年十二月二十四日 至昭和二十一年三月二十二日 沖繩本島</p>	<p>歸還輸送ノ狀況 ヲモ併記ス</p>	<p>歸還輸送ノ狀況 ヲモ併記ス</p>
<p>歸郷(又ハ連絡) 先</p>	<p>[Redacted]</p>	<p>歸還輸送ノ狀況 ヲモ併記ス</p>	<p>歸還輸送ノ狀況 ヲモ併記ス</p>
<p>其ノ他ノ參考事 項</p>	<p>[Redacted]</p>	<p>歸還輸送ノ狀況 ヲモ併記ス</p>	<p>歸還輸送ノ狀況 ヲモ併記ス</p>
<p>備 考</p>	<p>將校ニ記載セシメ第一復員省史實部ニ送付ス</p>	<p>歸還輸送ノ狀況 ヲモ併記ス</p>	<p>歸還輸送ノ狀況 ヲモ併記ス</p>

60

60 m

52

52

備考 呼校ニ記載セシメ第一復員省史部ニ送付ス		其他、参 考事項	歸郷(又、連 絡)先	終戦(又、主 力)戦斗終 了、後、状況	所屬部隊 概要 昭和十九年十月十五日、以降、宮古島ニ於テ、陣地 構築	所在部隊 編成年月日 及、編制裝 備、概要 昭和十九年八月十五日編成 裝備乙	支那軍、更以 降、於、ル、自 己、略、ヲ	所屬部隊 今右所在地 仲純、皇、宮古島	職官 大隊附小隊長	史実調査参考資料報告 昭和二十一年三月九日	摘要 終戦時ノモ 一、ヲ、記、ス
			食料不足、為、全力自給		天一号作戦ニ参加	昭和十九年八月十五日編成 裝備乙	昭和十八年十一月一日入隊 昭和十九年十二月二十五日、豊橋第一予備青年学校卒 同、 加歩三九八大隊ニ転属 昭和二十年三月六日、内地復員	氏名 [Redacted]	昭和二十一年三月九日	職、更、更 及、主、ニ、ル、参 加、戦、斗、名、ヲ 記、ス	
				帰郷輸送 人、状況、ヲ、モ 併、記、ス		最後、所屬 部隊ヲ、主 三、高、ソ、ノ 以、テ、所、屬 部隊、ノ、分、ヲ 概、記、ス					